

## 食品安全委員会の1月の運営について

### 1. 食品安全委員会の開催

#### 第268回 1月8日（木）

##### (1) 各専門調査会における審議状況についての報告

- 各専門調査会から報告された以下の案件について国民からの意見・情報の募集に着手することを決定

農薬専門調査会 (1品目)	ブタミホス
動物用医薬品 専門調査会 (3品目)	① カルプロフェン ② ラフォキサニド ③ 食品衛生法第11条第3項の規定に基づき、人の健康を損なうおそれのないことが明らかであるものとして厚生労働大臣が定める物質「タウリン」
遺伝子組換え食品 等専門調査会 (2品目)	① ILE-No. 1株を利用して生産されたL-イソロイシン ② 除草剤グリホサート及びアセト乳酸合成酵素阻害剤耐性ダイズDP-356043-5

##### (2) 食品健康影響評価

- 以下の案件について検討し、食品健康影響評価の結果をリスク管理機関に通知

農薬（3品目）	クロルエトキシホス、プロヒドロジャスモン、プロファム
---------	----------------------------

##### (3) 平成21年度食品安全モニターの募集について

- 事務局は、1月9日から募集を行うこととなった

##### (4) 平成21年度食品安全委員会予算案の概要及び機構・定員要求結果の概要について事務局から報告

##### (5) 食品安全委員会の12月の運営について事務局から報告

##### (6) 安全性未確認の米国産遺伝子組換え作物の微量混入に関する再発防止策及びリスク管理措置について農林水産省から報告

第 269 回 1 月 15 日 (木)

(1) 食品健康影響評価の要請

- ・ 以下の案件についてリスク管理機関から説明

遺伝子組換え食品等 (2 品目)	除草剤グリホサート耐性ワタGHB614系統 (食品・飼料)
------------------	-------------------------------

(2) 各専門調査会における審議状況についての報告

- ・ 各専門調査会から報告された以下の案件について国民からの意見・情報の募集に着手することを決定

農薬専門調査会 (1 品目)	テフリルトリオン
----------------	----------

(3) 食品健康影響評価

- ・ 以下の案件について検討し、食品健康影響評価の結果をリスク管理機関に通知

農薬 (2 品目)	スピネトラム、トリブホス
-----------	--------------

(4) 動物用医薬品評価書「エチプロストントロメタミン」の改訂について

- ・ 動物用医薬品専門調査会における結論のとおり、改訂を行うことを決定

(5) 食品安全委員会の改善に向けた検討について

- ・ 取りまとめ素案について、企画専門調査会、リスクコミュニケーション専門調査会及び緊急時対応専門調査会の意見を聴いた上で、取りまとめを行うことを決定

(6) 「食の安全ダイヤル」に寄せられた質問等 (平成 20 年 12 月分) について事務局から報告

(7) その他

- ・ 食品安全委員会が自ら食品健康影響評価を行う案件候補に関し、意見・情報の募集を実施することを事務局から報告

第 270 回 1 月 22 日 (木)

(1) 食品健康影響評価の要請

- ・ 以下の案件についてリスク管理機関から説明

農薬 (7 品目)	アミスルブロム、エスプロカルブ、クロルフェナピル、スピロメシフェン、ビフェントリン、フェンチオン、フラメトピル
-----------	---

(2) 各専門調査会における審議状況についての報告

- 各専門調査会から報告された以下の案件について国民からの意見・情報の募集に着手することを決定

農薬専門調査会 (1品目)	プロパモカルブ
動物用医薬品 専門調査会 (1品目)	オキシベンダゾール

(3) 食品健康影響評価

- 以下の案件について検討し、食品健康影響評価の結果をリスク管理機関に通知

添加物 (2品目)	2-ペンタノール、2-メチルブチルアルデヒド
農薬 (1品目)	ルフェヌロン
動物用医薬品 (3品目)	① 鶏脳脊髄炎・鶏痘混合生ワクチン (ノビリスAE+Pox) ② 鶏伝染性気管支炎生ワクチン (アビテクトIB/AK) ③ 塩化ナトリウム、塩化カリウム、塩化カルシウム及び 酢酸ナトリウムを有効成分とする牛の注射剤 (酢酸リンゲルーV注射液)

(4) 食品安全モニターからの報告 (平成 20 年 11 月分) について事務局から報告

第 271 回 1 月 29 日 (木)

(1) 各専門調査会における審議状況についての報告

- 各専門調査会から報告された以下の案件について国民からの意見・情報の募集に着手することを決定

農薬専門調査会 (1品目)	メタラキシル及びメフェノキサム
新開発食品 専門調査会 (2品目)	① アガリクスを含む製品 (製品名: キリン細胞壁破碎 アガリクス顆粒) ② アガリクスを含む製品 (製品名: 仙生露顆粒ゴールド及び アガリクスK2ABPC顆粒)

(2) 食品健康影響評価

- 以下の案件について検討し、食品健康影響評価の結果をリスク管理機関に通知

動物用医薬品 (1品目)	豚パルボウイルス (油性アジュバント加) 不活化ワクチン (パルボテック)
-----------------	--

## 2. 専門調査会の運営

### (1) 企画専門調査会

#### 第28回 1月26日(月)

- ・ 「食品安全委員会の改善に向けた検討」について調査審議し、各委員から出された意見を取りまとめ素案に反映することとなった
- ・ ①「平成20年度食品安全委員会が自ら食品健康影響評価を行う案件の候補について」、②「食品安全委員会が自ら食品健康影響評価を行う案件候補に関する審議結果についての御意見・情報の募集について」及び③「平成21年度食品安全委員会予算案の概要及び機構・定員要求結果の概要について」について、事務局から説明

#### 第29回 1月30日(金)

- ・ 「食品安全基本法第21条第1項に規定する基本的事項」(平成16年1月16日閣議決定)のフォローアップについて調査審議し、一部修正の上、食品安全委員会に報告することとなった
- ・ 平成21年度食品安全委員会運営計画について調査審議し、原案のとおり、食品安全委員会に報告することとなった

### (2) リスクコミュニケーション専門調査会

#### 第42回 1月23日(金)

- ・ 「食品安全委員会の改善に向けた検討」について、情報提供及びリスクコミュニケーションに係る改善内容を中心に審議

### (3) 緊急時対応専門調査会

#### 第27回 1月27日(火)

- ・ 「食品安全委員会の改善に向けた検討」について、緊急時対応に係る改善方策を中心に審議
- ・ 緊急事態等における食品安全委員会の情報提供のあり方について、事案の危害状況に応じた情報提供を行うための目安となる事項及びこれまでに提供した情報例について事務局から説明後、検討を実施
- ・ 「緊急時対応のための情報の収集、分析及び情報提供の在り方に関する検討」についての第3回ヒアリングとして、「健康被害事例などに対する『社会的影響』に与えるメディアの役割」をテーマに実施
- ・ 平成20年度緊急時対応訓練について、事務局から1回目訓練(メディア講習会)の概要報告、2回目訓練の計画概要の説明を実施

### (4) 添加物専門調査会

#### 第66回 1月13日(火)

- ・ 安全性評価指針の第1章(総則)、第2章(各論)における毒性試験の一部、ヒトにおける知見、一日摂取量の推計、栄養成分の評価方法等について、前回の検討事項の確認を含めて検討を行い、次回以降、引き続き審議することとなった

## (5) 農薬専門調査会

### 第47回 幹事会 1月21日(水)

- ・ ①「シフルフェナミド」、②「ノバルロン」、③「メタルデヒド」、④「トリフルスルフロンメチル」、⑤「ピメトロジン」及び⑥「プリミスルフロンメチル」について調査審議し、②についてはそのまま、それ以外については評価書案を一部修正の上、食品安全委員会に報告することを決定
- ・ 「フルジオキソニル」について、添加物専門調査会での審議を受けて審議された結果、評価書案を一部修正の上、再度、添加物専門調査会で審議されることとなった
- ・ 諸外国における急性参照用量(ARfD)の設定手順等について報告され、引き続きARfDの設定について検討されることとなった

### 第27回 総合評価第二部会 1月23日(金) ※非公開

- ・ 「ブタクロール」について調査審議し、継続審議となった

## (6) 動物用医薬品専門調査会

### 第105回 1月16日(金)

- ・ 「ホスホマイシンナトリウムを有効成分とする牛の注射剤(動物用ホスミシンS(静注用))の再審査」について調査審議し、継続審議となった
- ・ 確認評価部会において審議する動物用医薬品の指定について審議し、2物質の追加が了承された

## (7) 遺伝子組換え食品等専門調査会

### 第67回 1月27日(火) ※非公開

- ・ ①「除草剤グリホサート及びアセト乳酸合成酵素阻害剤耐性ダイズ DP-356043-5(飼料)」、②「除草剤グリホサート耐性ワタ GHB614系統(食品・飼料)」及び③「耐熱性 $\alpha$ -アミラーゼ産生トウモロコシ 3272系統(食品・飼料)」について調査審議を行い、①については食品安全委員会に報告することを決定、それ以外については継続審議となった

## (8) 新開発食品専門調査会

### 第54回 1月16日(金)

- ・ アガリクスを含む製品に係る安全性について、ワーキンググループで取りまとめられた評価書案を一部修正の上、食品安全委員会に報告することとなった
- ・ ①「ガルシニア1000」、②「ヘルシーゼリー(オレンジ味)」、③「ガルシニアゼリー(マスカット味)」及び④「ガルシニアゼリー(アップル&キャロット味)」について、食品健康影響評価の評価要請取下げがあったことを事務局から報告

### 第5回 ワーキンググループ(体細胞クローン家畜由来食品) 1月19日(月)

- ・ 審議の結果、評価書(案)を一部修正の上、新開発食品専門調査会に報告することを決定

### 3. 意見交換会等の開催

#### (1) 意見交換会

「食育シンポジウム～安全で豊かな食生活を目指して～」

1月17日（土）＜静岡県静岡市＞

- ・ 安全で豊かな食生活の実現に向けた取組の契機となることを目指して、関東農政局静岡農政事務所との共催で、意見交換会を実施
- ・ 食品安全委員会事務局から、食品安全委員会の取組について説明したあと、消費者、生産者、食品事業者、静岡県をパネリストに迎え、パネルディスカッションと参加者との意見交換を実施

「食品に関するリスクコミュニケーション（大分）—みんなで話そう！食の安全—」

1月30日（金）＜大分県大分市＞

- ・ 食品安全委員会と大分県との共催で開催し、「食に関して気がかりなこと、興味があることは何か」をテーマに、事前に希望が多かった「農薬」等、上位3テーマの中から、参加者が参加したい希望テーマごとにグループに分かれディスカッション
- ・ ディスカッションは、人材育成講座の受講者等である各グループのファシリテーター及びアドバイザー役を中心に「問題点を解決するために、何をしたらよいか」等を念頭に進められ、最後にまとめとして、グループごとに「食の安全を守るために必要だとわかったこと」等を発表

#### (2) 食品の安全性に関する地域の指導者育成講座

1月14日（水）＜宮崎県宮崎市＞

1月23日（金）＜岩手県盛岡市＞

1月27日（火）＜熊本県上益城郡益城町＞

1月28日（水）＜鹿児島県鹿児島市＞

- ・ 食品安全委員会と各自治体の共催で開催し、事務局から「食品安全のためのリスク分析（食品のリスクとのつきあい方）」と題して講演を行った後、ゲーミングシミュレーション「クロスロード」の説明とグループに分かれての演習を実施

#### (3) 食品の安全性に関するリスクコミュニケーター（ファシリテーター）育成講座

1月16日（金）＜石川県金沢市＞

- ・ 食品安全委員会と石川県の共催で開催し、午前にリスク分析と食品安全委員会の役割について説明したDVD上映と、ファシリテーションの基礎知識に関する講義の後、ファシリテーションの基本的なスキルのいくつか（傾聴など）について実習を開催
- ・ 午後は参加者がグループに分かれ、アイスブレイクをした後、ワークショップのいくつかの手法を体験

(4) 食品の安全性に関するリスクコミュニケーター（インタープリター）育成講座

1月21日（水）－22日（木）＜秋田県秋田市＞

1月28日（水）－29日（木）＜福岡県福岡市＞

- ・ 食品安全委員会と各自治体の共催で開催し、1日目は食品安全委員会の概要及び当委員会と国民との科学情報を介した架け橋としてのインタープリターに期待することを中心に説明。用意したスライド資料をたたき台にして、わかりやすく伝えるには何が必要かなどについて討議
- ・ 2日目は、食品のリスク評価の概要を説明した後、各受講者の自己紹介を教材として、「相手に伝わる話し方」の演習を実施

(5) サイエンスカフェ

1月20日（火）＜東京都中央区＞

- ・ スピーカーから、スライドを使って、30分程度の話題提供の後、参加者から、疑問や意見を自由に「コミュニケーションカード」に書いて出してもらい、その内容について、意見交換を実施

4. その他

なし

以 上